



栗原 NN 通信

2023年9月11日発行 第16号

●若柳蓬田地区の棚田で草刈り講習、作物の作付けを行いました！

若柳蓬田地区の棚田において、6月は職員向けの草刈り講習会とさつまいも・大豆の作付けを、7月にはそば蒔きを行いました。6月の草刈り講習では、はじめに刈払機の安全な操作の仕方を学び、それから地域の方々と一緒に棚田の法面の草刈りを行いました。棚田で法面が急なため職員からは「草刈りが大変」という声もありました。また、同日にはさつまいもの苗の移植と大豆の種も蒔きました。

7月のそばの種蒔きでは猛暑の中、新しい品種のそばを蒔きました。11月下旬には収穫祭を予定しています。日頃は我々職員が直接作付けなど行う経験が少なく、とても新鮮な体験でした。

若柳蓬田地区では例年開催されている棚田フォトコンテストの作品を募集しています。棚田の美しい風景を写真に収め、応募いただく入賞した方には棚田米や野菜などの賞品もあります。皆様も是非応募してください。募集期間は令和5年12月31日（日）までです。

詳しくは下記の URL に応募方法等について記載されているので是非ご覧ください。

<https://www.kuriharacity.jp/welcome/001/006/PAGE0000000000000000008006.html>



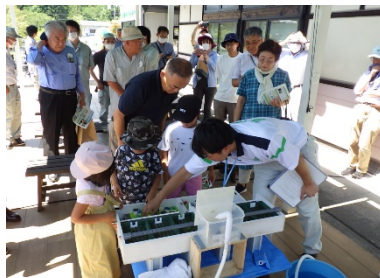
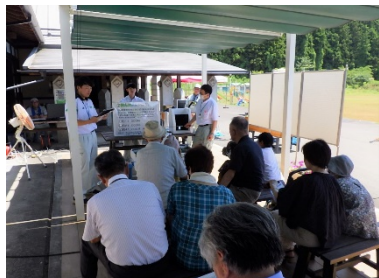
●基金活用検討発表会を行いました！

7月27日（木）に若手職員による基金活用検討発表会を行いました。持続可能な農業農村の実現に向けて、基金を活用した企画づくりのためにブレインストーミングやKJ法を用いて、たくさんのユーモア溢れるアイデアを模造紙にまとめ、アイデアを基に楽しくやりがいのある企画を各班考察しました。田んぼを活用したレクリエーションを開催することで地域交流や農業・農村の魅力発信を図る企画や、田んぼダム等の構造を学べるカレーを開発し、食を通じて事業紹介を行う企画を所内で発表しました。※基金とは農地や土地改良施設等の地域資源の利活用及び保全整備等を促進するために積み立てられた「中山間地域等農村活性化基金」になります。



●夏休み発見体験特別イベントで「田んぼダム出前講座」を行いました！

8月5日（土）、栗駒山麓ジオパークビジターセンターで「なつやすみ発見特別イベント」が開催され、当所では「田んぼダムの出前講座」と題し、模型とパネルを使って田んぼダムを説明しました。当日は午前と午後の2回説明を行い、合計15名の方々に参加いただきました。模型を使った説明は参加者の反応も良く、田んぼダムについて関心を持っていただきました。



栗原管内の田んぼダムの取組みは県内でも普及率が低く、田んぼダムを聞いたことがないという方もたくさんいます。引き続き、出前講座等を通じて多くの方に知っていただけるよう普及に努めたいと思います。

田んぼダムとは・・・

田んぼダムとは田んぼの貯水機能を利用して、大雨の際に田んぼに一時的に雨水を貯めることにより河川や排水路の急激な増水を防ぎ、氾濫等による洪水被害を軽減する取組です。

宮城県ではYouTubeで田んぼダムについての動画を公開しています。今回の出前講座同様に模型を使い、分かりやすく説明していますので、下記URLまたは右のQRコードからご覧下さい。

URL: <https://www.youtube.com/watch?v=UwxhMoxNqXO>



●多面的機能支払活動組織「新田地区農村環境保全組合」で生き物調査会を行いました！

7月30日（日）、栗原市志波姫八樟地内で、今年も多面的機能支払活動組織「新田地区農村環境保全組合」による生き物調査会が行われました。当日は構成員と地域の子供たちとその保護者合わせて約40名が参加し、生き物について学習しました。



まずは田んぼ脇の水路で、続いて大きな水路で、調査を行い、全部で12種類の生き物たちの名前や生態について先生に詳しく解説していただきました。また、生き物を自由に観察する時間も設けられ、好奇心旺盛な子どもたちは興味津々な様子で生き物たちとの触れ合いを楽しんでいました。最後に、参加してくれた子供たちには様々な生き物が描かれている下敷きやトンボの図鑑が配られ、早朝の清々しい空気に包まれる中、皆さん楽しんでいました。

●「宮城県農業用ため池保全管理技術研修会」に参加してきました！！

7月25日(火)に大和町鶴巣にある大堤下ため池で行われた「宮城県農業用ため池保全管理技術研修会」に参加してきました。研修では、農業用ため池の構造や入水してしまった際の対処法、実際にため池への入水体験や実演を行いました。

現在、宮城県のみならず、全国各地で水難事故が増加傾向にあります。特に気温が上昇するにつれ事故が多発しており、その中でもため池による事故も課題となっております。

ため池は水を漏らさないようにするため、ゴム製の遮水シートが張ってあるところもあります。このシートはとても滑りやすいため、簡単に這い上がることができません。そのため、無理に這い上がろうとせず、「背浮き」(写真②)で救助を待ってください。「背浮き」は仰向けになって浮くだけなので、体力の消耗及び呼吸困難によるパニックになることなく、安心して救助を待つことができます。

ため池に近づかないことが大切ですが、もし落水した場合「背浮き」を行い、一番に呼吸を確保することを忘れないでください。



写真①：講習の様子



写真②：講習の様子
(背浮き)

●Instagramを活用した情報発信を行っています！

現在、栗原地域事務所 NN 部では、栗原地域事務所のInstagram「ございんくりはら」を活用した情報発信を行っています。投稿内容は我々が取り組んでいる工事の紹介等、一般の方向けに分かりやすく情報発信しております。また、内容について基本 NN 事業等の紹介をメインとしていますが、その他部内職員が栗原管内で食べた昼食も掲載したりなど栗原の魅力紹介も併せて投稿しております。

すでにご覧になったことがある方は引き続き、まだ一度もご覧になったことがない方はぜひご覧になってください。

余談ですが・・・

現在Instagramのフォロワーが990人と1000人の手前までできています。是非これを機にフォローもよろしくお願いします！

「ございんくりはら」で検索してみてください！



発行：北部地方振興事務所栗原地域事務所農業農村整備部

〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木 5-1

TEL：0228-22-2111

FAX：0228-22-9284

H P：https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khsgsin-ns/